

セミナーの内容:

【1日目】

セッション1／リサーチ・クエスチョンをたてる、プロトコールの構造

講師: 福原教授(京都大学医療疫学分野)

【学習目標】

- 1) リサーチ・クエスチョンを作ることの意義を理解する
- 2) リサーチ・クエスチョンに含まれるべき要素は何かを理解する
- 3) リサーチ・クエスチョンに求められる特性は何かを理解する

セッション2／概念を変数に変換する、変数の信頼性・妥当性

講師: 福原教授(京都大学医療疫学分野)

【学習目標】

- 1) 測定概念を変数に変換できるようになる
- 2) 測定の信頼性の概念について理解する。
- 3) 測定の妥当性の概念について理解する。

セッション3／臨床研究デザインの種類、変数の種類

講師: 林野特任助手(京都大学医療疫学分野)

【学習目標】

- 1) 異なる臨床研究の分類を理解する
- 2) それぞれの研究デザインの長所、短所、適応を理解する
- 3) それぞれの研究デザインで使用される指標を理解する
- 4) どのような研究目的に、どのようなデザインを選択すべきかを理解する

セッション4／臨床研究における倫理的配慮

講師: 中山教授(京都大学健康情報学分野)

【学習目標】

- 1) 研究マネジメントに必要なインフラを知る
- 2) CRFについて理解する。
- 3) 研究実施、データ収集の際に勘案すべき倫理的な問題点について理解する。

セッション5／1日目のまとめと質疑応答

講師: 全員

【2日目】

セッション6／統計解析の基礎Ⅰ：記述統計・検定・推定

講師：東特任助手（京都大学医療疫学分野）

【学習目標】

臨床研究を行う上で必要な生物統計学の基礎および統計解析の基本概念を理解する。

セッション7／統計解析の基礎Ⅱ：統計解析の選択

講師：東特任助手（京都大学医療疫学分野）

【学習目標】

2変数間の関連を検証するための統計学的理論を理解する。

セッション8／臨床研究の実例に見る陥りがちな問題点

講師：川村教授（京都大学予防医療疫学分野）

【学習目標】

セッション9／統計解析の基礎Ⅲ：実践編

講師：林野特任助手（京都大学医療疫学分野）

【学習目標】

シナリオを通じ、適切な研究デザインと統計学的手法を選択できるようになる。

セッション10／2日間のまとめと授業評価フィードバック

講師：全員

基礎集中セミナー 時間割

2006/8/11

	9/16(土) 第1日	9/17(日) 第2日
8:00	参加登録 受付	
8:45	挨拶	
9:00	セッション1 リサーチ・クエスチョンをたてる プロトコールの構造 要因とアウトカム 講義+ディスカッション 講師： 福原教授	セッション6 統計解析の基礎Ⅰ：記述統計・検定・推定 講師： 東特任助手
10:30	セッション2 概念を変数に変換する 変数の信頼性・妥当性(質問紙法) 講義+ディスカッション 講師： 福原教授	セッション7 統計解析の基礎Ⅱ：統計解析の選択 講師： 東特任助手
12:00	昼食	昼食
13:00	セッション3 臨床研究デザインとバイアス 講義+ディスカッション 講師： 林野特任助手	セッション8 臨床研究の実例に見る陥りがちな問題点 講師： 川村教授
14:30	セッション4 臨床研究における倫理的配慮 講師： 中山教授	セッション9 統計解析の基礎Ⅲ：実践編 講義+ディスカッション 講師： 林野特任助手
16:00	セッション5 1日目のまとめと質疑応答 講師： 全員	セッション10 2日間のまとめと授業評価フィードバック 講師： 全員
17:00		

若手臨床研究者育成のための基礎集中セミナー「臨床研究デザインの基礎」
参加人数（都道府県別）

都道府県	人数
北海道	2
青森県	1
宮城県	1
栃木県	3
千葉県	4
東京都	5
神奈川県	3
新潟県	1
長野県	3
静岡県	7
愛知県	1
京都府	4
奈良県	12
大阪府	2
兵庫県	1
和歌山県	2
高知県	1
山口県	3
福岡県	5
鹿児島県	1
沖縄県	2
合計	64

臨床研究についてのアンケート

2006年9月 臨床研究基礎セミナー

====あなたの情報=====

- 性別 【 男性 ・ 女性 】
- 年齢 【 20歳代 ・ 30歳代 ・ 40歳代 ・ 50歳代 ・ 60歳代 】
- 実務経験 【 2年未満 ・ 5年未満 ・ 10年未満 ・ 10年～20年 ・ 20年以上 】
- 所属施設 【 大学付属病院 ・ 国公立病院 ・ 民間病院 ・ 診療所 ・ その他()】
- 専門分野 【 】
- 日常業務 【 診療 ・ 教育 ・ 経営 ・ その他() 】

=====
このアンケートは、今回のセミナーを受講する以前の状況ないし感覚についてお答えくださるようお願い致します。

■あなたの臨床研究に関する、取り組みについてお答え下さい。

- ① これまでに、臨床研究に関する研究会、ワークショップ等に参加したことがありますか？
【 はい ・ いいえ 】

SQ.1 ①で「はい」と答えた方は、以下の質問にお答え下さい。

- (a) その会の主催者はどのような組織でしたか？（複数回答可）

【大学・製薬等医療メーカー・出版社・研究会・学会・厚生科学研究・()】

- (b) どのような内容でしたか？簡単にお答え下さい。

【 】

- ② 今後、教育セミナーやワークショップを受ける場合、どのようなものを希望しますか？

- (a) 開催日時 【 平日昼間 ・ 平日夕方以降 ・ 休日 ・ 学会の折 】

- (b) 時間 【 2時間程度 ・ 半日 ・ 1日 ・ 2日 ・ 3日以上 】

- (c) 場所 【 通勤圏内 ・ 同地域（関西・関東など） ・ 国内ならどこでも 】

③ あなたは、もともと臨床研究に関心がありましたか？

【 強い関心があった ・ 多少関心があった ・ あまり関心がなかった ・ 全く関心がなかった 】

SQ.1 ③で「強い(多少)関心があった」と答えた方は、以下の質問にお答え下さい。

(a) なぜ臨床研究に興味関心を持たれたのですか？

【 研究したいテーマがある ・ 日常業務中の疑問を解決したい ・ 医療の進歩に貢献したい 】

【 その他 () 】

(b) 臨床研究に関わるとしたら、どのような立場で関わりたいですか？

【 計画立案者として ・ 実施運営者として ・ 研究参加者の一人として 】

【 その他 () 】

(c) 臨床研究に関わるとしたら、どのような研究に関わりたいですか？(複数回答可)

【 新薬の臨床治験 ・ 市販後薬剤の臨床試験 ・ 薬剤以外の介入研究 ・ 横断的観察研究 】

【 縦断的観察研究 ・ 経済評価研究 ・ 質的研究 ・ その他 () 】

SQ.2 ③で「あまり(全く)関心がなかった」と答えた方は、以下の質問にお答え下さい。

(a) なぜ今回のセミナーに参加されたのですか？

④ あなたは現在、臨床研究に関わっていますか？

【 主任研究者として関わっている ・ 協力者として関わっている ・ 関わっていない 】

SQ1. 関わっている方は、その内容について簡単にお書き下さい。(内容については空欄をお願いします)

【 新薬の臨床治験 ・ 市販後薬剤の臨床試験 ・ 薬剤以外の介入研究 ・ 横断的観察研究 】

【 縦断的観察研究 ・ 経済評価研究 ・ 質的研究 ・ その他 () 】

SQ2. ④で「関わっていない」と答えた方は、その理由についてお答え下さい。(複数回答可)

【 関心がない ・ 忙しい ・ チャンスがない ・ やり方がわからない ・ 資金がない 】

【 協力者がいない ・ やりたいテーマがない ・ その他 () 】

■EBMに関してお答え下さい。

① このセミナーを受ける以前に、あなたは以下について、十分な知識・スキルがありましたか？

(a) 既存研究を PubMed 等を使い、的確に検索する力

【 そう思う ・ まあそう思う ・ あまりそう思えない ・ そう思えない 】

(b) 既存研究を批判的に吟味する力(Critical Appraisal)

【 そう思う ・ まあそう思う ・ あまりそう思えない ・ そう思えない 】

② 今まであなたは、臨床実践にEBMをどのくらい活用していましたか？（主観的で構いません）

【 活用していた ・ まあ活用していた ・ あまり活用していたとは言えない ・ 全く活用していない 】

■臨床研究に関する知識・スキル・考え方についてお答え下さい。

① 臨床研究を実施するために、次の知識およびスキルがどのくらい重要だと感じますか？また、あなたは現在、それぞれについてどの程度の達成度・理解度だと感じますか？それぞれ、**受講前の感覚**でお答え下さい。

※重要性（ 1：全く重要ではないと思っていた ～ 5：大変重要であると思っていた ）

※達成度（ 1：全く達成できていなかった ～ 5：十分に達成できていた ）

	知識・スキル	重要性	あなたの達成度
A	臨床に基づいたリサーチクエスチョンを立てられる	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
B	適切な研究デザインを選択できる	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
C	バイアス・交絡に対する正しい認識	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
D	アウトカム指標の選び方	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
E	研究倫理に関する知識・考え方	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
F	どの統計解析手法を使うかの判断力	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
G	統計ソフトの適切な使い方	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
H	論文の適切な書き方	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
I	研究運営実施（management）	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
J	臨床家や研究指導者などの人的ネットワーク	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5

② 上記のA～Jの知識・スキルのうち、セミナー・ワークショップなどで特に学びたいと感じるものを、学びたい順に3つ挙げてください。

【 1番： 】 【 2番： 】 【 3番： 】

③ その他、セミナー・ワークショップ等で学びたい内容があれば、ご自由にお書き下さい。

ご協力、ありがとうございました。

臨床研究についてのアンケート 単純集計表

A-1 性別

	回答数	構成比
(1) 男性	44	78.6%
(2) 女性	11	19.6%
無回答	1	1.8%
計	56	100.0%

A-2 年齢

	回答数	構成比
(1) 20歳代	20	35.7%
(2) 30歳代	29	51.8%
(3) 40歳代	6	10.7%
(4) 50歳代	0	0.0%
(5) 60歳代	0	0.0%
無回答	1	1.8%
計	56	100.0%

A-3 実務経験

	回答数	構成比
(1) 2年未満	6	10.7%
(2) 5年未満	15	26.8%
(3) 10年未満	19	33.9%
(4) 10～20年	14	25.0%
(5) 20年以上	1	1.8%
無回答	1	1.8%
計	56	100.0%

A-4 所属施設

	回答数	構成比
(1) 大学付属病院	24	42.9%
(2) 国公立病院	5	8.9%
(3) 民間病院	19	33.9%
(4) 診療所	5	8.9%
(5) その他	2	3.6%
無回答	1	1.8%
計	56	100.0%

A-5 日常業務・診療

	回答数	構成比
(1) ○	50	89.3%
(2) ×	4	7.1%
無回答	2	3.6%
計	56	100.0%

A-6 日常業務・教育

	回答数	構成比
(1) ○	18	32.1%
(2) ×	37	66.1%
無回答	1	1.8%
計	56	100.0%

A-7 日常業務・経営

	回答数	構成比
(1) ○	2	3.6%
(2) ×	53	94.6%
無回答	1	1.8%
計	56	100.0%

A-8 日常業務・その他

	回答数	構成比
(1) ○	9	16.1%
(2) ×	46	82.1%
無回答	1	1.8%
計	56	100.0%

B-1 臨床研究に関する研究会・WSへの参加経験

	回答数	構成比
(1) ある	5	8.9%
(2) ない	51	91.1%
無回答	0	0.0%
計	56	100.0%

B-2 会の主催者・大学

	回答数	構成比
(1) ○	0	0.0%
(2) ×	5	100.0%
無回答	0	0.0%
計	5	100.0%

B-3 会の主催者・製薬等メーカー

	回答数	構成比
(1) ○	0	0.0%
(2) ×	5	100.0%
無回答	0	0.0%
計	5	100.0%

B-4 会の主催者・出版社

	回答数	構成比
(1) ○	0	0.0%
(2) ×	5	100.0%
無回答	0	0.0%
計	5	100.0%

B-5 会の主催者・研究会

	回答数	構成比
(1) ○	2	40.0%
(2) ×	3	60.0%
無回答	0	0.0%
計	5	100.0%

B-6 会の主催者・学会

	回答数	構成比
(1) ○	3	60.0%
(2) ×	2	40.0%
無回答	0	0.0%
計	5	100.0%

B-7 会の主催者・厚生科学研究

	回答数	構成比
(1) ○	2	40.0%
(2) ×	3	60.0%
無回答	0	0.0%
計	5	100.0%

B-8 希望開催日時(3つまで)

	回答数	構成比
(1) 平日昼間	0	0.0%
(2) 平日夕方	4	5.4%
(3) 休日	48	64.9%
(4) 学会の折	22	29.7%
無回答	0	0.0%
計	74	100.0%

B-9 希望時間

	回答数	構成比
(1) 2時間程度	1	1.8%
(2) 半日	10	17.9%
(3) 1日	24	42.9%
(4) 2日	19	33.9%
(5) 3日以上	1	1.8%
無回答	1	1.8%
計	56	100.0%

B-10 希望場所

	回答数	構成比
(1) 通勤圏内	2	3.6%
(2) 同地域	38	67.9%
(3) 国内ならどこでも	14	25.0%
無回答	2	3.6%
計	56	100.0%

B-12 もともと臨床研究に関心があったか？

	回答数	構成比
(1) 強い関心あり	26	46.4%
(2) 多少関心あり	29	51.8%
(3) あまり関心なし	1	1.8%
(4) 全く関心なし	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	56	100.0%

B-13 なぜ臨床研究に関心を持ったか？

	回答数	構成比
(1) 研究テーマ	16	29.1%
(2) 日常業務の疑問	22	40.0%
(3) 医療の進歩	9	16.4%
無回答	8	14.5%
計	55	100.0%

B-14 臨床研究に関わる立場の希望

	回答数	構成比
(1) 計画立案者	32	58.2%
(2) 実施運営者	7	12.7%
(3) 研究参加者の一人	11	20.0%
無回答	5	9.1%
計	55	100.0%

B-15 関わりたい研究の希望・新薬臨床治験

	回答数	構成比
(1) ○	7	12.7%
(2) ×	42	76.4%
無回答	6	10.9%
計	55	100.0%

B-16 関わりたい研究の希望・市販後薬剤臨床試験

	回答数	構成比
(1) ○	11	20.0%
(2) ×	38	69.1%
無回答	6	10.9%
計	55	100.0%

B-17 関わりたい研究の希望・薬剤以外の介入研究

	回答数	構成比
(1) ○	20	36.4%
(2) ×	29	52.7%
無回答	6	10.9%
計	55	100.0%

B-18 関わりたい研究の希望・横断的観察研究

	回答数	構成比
(1) ○	26	47.3%
(2) ×	23	41.8%
無回答	6	10.9%
計	55	100.0%

B-19 関わりたい研究の希望・縦断的観察研究

	回答数	構成比
(1) ○	28	50.9%
(2) ×	21	38.2%
無回答	6	10.9%
計	55	100.0%

B-20 関わりたい研究の希望・経済評価研究

	回答数	構成比
(1) ○	11	20.0%
(2) ×	38	69.1%
無回答	6	10.9%
計	55	100.0%

B-21 関わりたい研究の希望・質的研究

	回答数	構成比
(1) ○	10	18.2%
(2) ×	39	70.9%
無回答	6	10.9%
計	55	100.0%

B-22 現在の臨床研究への関わり

	回答数	構成比
(1) 主任として	6	10.7%
(2) 協力者として	23	41.1%
(3) 関わっていない	27	48.2%
無回答	0	0.0%
計	56	100.0%

B-23 関わっている研究の内容(2つまで)

	回答数	構成比
(1) 新薬臨床治験	3	8.1%
(2) 市販後薬剤試験	9	24.3%
(3) 薬剤以外の介入	4	10.8%
(4) 横断的観察研究	10	27.0%
(5) 縦断的観察研究	6	16.2%
(6) 経済評価研究	0	0.0%
(7) 質的研究	1	2.7%
(8) その他	2	5.4%
無回答	2	5.4%
計	37	100.0%

B-24 関わっていない理由(3つまで)

	回答数	構成比
(1) 関心がない	0	0.0%
(2) 忙しい	11	20.4%
(3) チャンスがない	10	18.5%
(4) やり方がわからない	20	37.0%
(5) 資金がない	6	11.1%
(6) 協力者がいない	2	3.7%
(7) やりたいテーマがない	2	3.7%
(8) その他	1	1.9%
無回答	2	3.7%
計	54	100.0%

C-1 PubMedを使って検索する力がある

	回答数	構成比
(1) そう思う	8	14.3%
(2) まあそう思う	25	44.6%
(3) あまり思えない	19	33.9%
(4) そう思えない	4	7.1%
無回答	0	0.0%
計	56	100.0%

C-2 臨床研究を批判的に吟味する力がある

	回答数	構成比
(1) そう思う	0	0.0%
(2) まあそう思う	15	26.8%
(3) あまり思えない	31	55.4%
(4) そう思えない	10	17.9%
無回答	0	0.0%
計	56	100.0%

C-3 臨床実践へのEBMの活用度

	回答数	構成比
(1) 活用していた	7	12.5%
(2) まあ活用していた	22	39.3%
(3) あまり活用せず	26	46.4%
(4) 全く活用せず	1	1.8%
無回答	0	0.0%
計	56	100.0%

D-1 A:RQの重要性

		回答数	構成比
(1)	1 (重要度低)	0	0.0%
(2)	2	3	5.4%
(3)	3	5	8.9%
(4)	4	12	21.4%
(5)	5 (重要度高)	36	64.3%
無回答		0	0.0%
計		56	100.0%

D-2 B:研究デザインの重要性

		回答数	構成比
(1)	1 (重要度低)	1	1.8%
(2)	2	0	0.0%
(3)	3	4	7.1%
(4)	4	11	19.6%
(5)	5 (重要度高)	40	71.4%
無回答		0	0.0%
計		56	100.0%

D-3 C: バイアス・交絡の重要性

		回答数	構成比
(1)	1 (重要度低)	0	0.0%
(2)	2	0	0.0%
(3)	3	7	12.5%
(4)	4	19	33.9%
(5)	5 (重要度高)	30	53.6%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

D-4 D: アウトカム指標の選び方の重要性

		回答数	構成比
(1)	1 (重要度低)	0	0.0%
(2)	2	2	3.6%
(3)	3	4	7.1%
(4)	4	19	33.9%
(5)	5 (重要度高)	31	55.4%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

D-5 E: 研究倫理の重要性

		回答数	構成比
(1)	1 (重要度低)	0	0.0%
(2)	2	6	10.7%
(3)	3	11	19.6%
(4)	4	12	21.4%
(5)	5 (重要度高)	27	48.2%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

D-6 F: 統計解析手法の重要性

		回答数	構成比
(1)	1 (重要度低)	0	0.0%
(2)	2	3	5.4%
(3)	3	1	1.8%
(4)	4	19	33.9%
(5)	5 (重要度高)	33	58.9%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

D-7 G: 統計ソフトの使い方の重要性

		回答数	構成比
(1)	1 (重要度低)	1	1.8%
(2)	2	3	5.4%
(3)	3	8	14.3%
(4)	4	21	37.5%
(5)	5 (重要度高)	23	41.1%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

D-8 H:論文の適切な書き方の重要性

		回答数	構成比
(1)	1 (重要度低)	0	0.0%
(2)	2	1	1.8%
(3)	3	3	5.4%
(4)	4	18	32.1%
(5)	5 (重要度高)	34	60.7%
無回答		0	0.0%
計		56	100.0%

D-9 I:研究運営実施の重要性

		回答数	構成比
(1)	1 (重要度低)	0	0.0%
(2)	2	4	7.1%
(3)	3	9	16.1%
(4)	4	25	44.6%
(5)	5 (重要度高)	18	32.1%
無回答		0	0.0%
計		56	100.0%

D-10 J:臨床家ネットワークの重要性

		回答数	構成比
(1)	1 (重要度低)	2	3.6%
(2)	2	2	3.6%
(3)	3	5	8.9%
(4)	4	15	26.8%
(5)	5 (重要度高)	32	57.1%
無回答		0	0.0%
計		56	100.0%

E-1 A:RQの達成度

		回答数	構成比
(1)	1 (達成度低)	10	17.9%
(2)	2	17	30.4%
(3)	3	17	30.4%
(4)	4	10	17.9%
(5)	5 (達成度高)	2	3.6%
無回答		0	0.0%
計		56	100.0%

E-2 B:研究デザインの達成度

		回答数	構成比
(1)	1 (達成度低)	15	26.8%
(2)	2	20	35.7%
(3)	3	14	25.0%
(4)	4	7	12.5%
(5)	5 (達成度高)	0	0.0%
無回答		0	0.0%
計		56	100.0%

E-3 C: バイアス・交絡の達成度

		回答数	構成比
(1)	1 (達成度低)	18	32.1%
(2)	2	19	33.9%
(3)	3	16	28.6%
(4)	4	3	5.4%
(5)	5 (達成度高)	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

E-4 D: アウトカム指標の選び方の達成度

		回答数	構成比
(1)	1 (達成度低)	17	30.4%
(2)	2	13	23.2%
(3)	3	17	30.4%
(4)	4	9	16.1%
(5)	5 (達成度高)	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

E-5 E: 研究倫理の達成度

		回答数	構成比
(1)	1 (達成度低)	14	25.0%
(2)	2	16	28.6%
(3)	3	19	33.9%
(4)	4	7	12.5%
(5)	5 (達成度高)	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

E-6 F: 統計解析手法の達成度

		回答数	構成比
(1)	1 (達成度低)	27	48.2%
(2)	2	14	25.0%
(3)	3	13	23.2%
(4)	4	2	3.6%
(5)	5 (達成度高)	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

E-7 G: 統計ソフトの使い方の達成度

		回答数	構成比
(1)	1 (達成度低)	28	50.0%
(2)	2	16	28.6%
(3)	3	10	17.9%
(4)	4	2	3.6%
(5)	5 (達成度高)	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

E-8 H:論文の適切な書き方の達成度

		回答数	構成比
(1)	1 (達成度低)	23	41.1%
(2)	2	17	30.4%
(3)	3	12	21.4%
(4)	4	3	5.4%
(5)	5 (達成度高)	1	1.8%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

E-9 I:研究運営実施の達成度

		回答数	構成比
(1)	1 (達成度低)	31	55.4%
(2)	2	13	23.2%
(3)	3	10	17.9%
(4)	4	2	3.6%
(5)	5 (達成度高)	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

E-10 J:臨床家ネットワークの達成度

		回答数	構成比
(1)	1 (達成度低)	30	53.6%
(2)	2	3	5.4%
(3)	3	20	35.7%
(4)	4	3	5.4%
(5)	5 (達成度高)	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

F-1 学びたいスキル:1位

		回答数	構成比
(1)	A 臨床に基づいたリサーチクエスチョンを立てられる	14	25.0%
(2)	B 適切な研究デザインを選択できる	15	26.8%
(3)	C バイアス・交絡に対する正しい認識	1	1.8%
(4)	D アウトカム指標の選び方	2	3.6%
(5)	E 研究倫理に関する知識・考え方	1	1.8%
(6)	F どの統計解析手法を使うかの判断力	15	26.8%
(7)	G 統計ソフトの適切な使い方	1	1.8%
(8)	H 論文の適切な書き方	6	10.7%
(9)	I 研究運営実施 (management)	0	0.0%
(10)	J 臨床家や研究指導者などの人的ネットワーク	1	1.8%
	無回答	0	0.0%
	計	56	100.0%

F-2 学びたいスキル:2位

	回答数	構成比
(1) A 臨床に基づいたリサーチクエスチョンを立てられる	3	5.4%
(2) B 適切な研究デザインを選択できる	13	23.2%
(3) C バイアス・交絡に対する正しい認識	9	16.1%
(4) D アウトカム指標の選び方	4	7.1%
(5) E 研究倫理に関する知識・考え方	1	1.8%
(6) F どの統計解析手法を使うかの判断力	13	23.2%
(7) G 統計ソフトの適切な使い方	7	12.5%
(8) H 論文の適切な書き方	3	5.4%
(9) I 研究運営実施 (management)	1	1.8%
(10) J 臨床家や研究指導者などの人的ネットワーク	2	3.6%
無回答	0	0.0%
計	56	100.0%

F-3 学びたいスキル:3位

	回答数	構成比
(1) A 臨床に基づいたリサーチクエスチョンを立てられる	2	3.6%
(2) B 適切な研究デザインを選択できる	4	7.1%
(3) C バイアス・交絡に対する正しい認識	8	14.3%
(4) D アウトカム指標の選び方	4	7.1%
(5) E 研究倫理に関する知識・考え方	2	3.6%
(6) F どの統計解析手法を使うかの判断力	8	14.3%
(7) G 統計ソフトの適切な使い方	6	10.7%
(8) H 論文の適切な書き方	10	17.9%
(9) I 研究運営実施 (management)	8	14.3%
(10) J 臨床家や研究指導者などの人的ネットワーク	4	7.1%
無回答	0	0.0%
計	56	100.0%

V. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

福原俊一: 臨床研究を担う車の両輪 一連載にあたり、*医学のあゆみ* 219(11・12) P871-874, 2006.12

福原俊一: 臨床研究者育成のための戦略とロード・マップ、*学術の動向* 2006.08

名郷直樹: クリニカルリサーチを学ぶ効用、*JIM* 2:102-4, 2007

杉岡隆: ゼロから学ぶクリニカルリサーチ、*JIM* 2:128-30, 2007